

土地区画整理審議会 開催の報告

【第30回 土地区画整理審議会】

開催日：平成20年10月16日(木)

出席委員：16名

今回の審議会では正連寺地区、若柴地区、十余二地区の土地についての仮換地指定について諮問され、原案どおり承認されました。

今回は、緑地保全のため(仮称)「こんぶくる池公園」の一部にも仮換地指定を行いました。

なお、右の写真に記載されている○の位置が今回仮換地指定を行った場所になります。



換地課からのお願い!

1. 権利が変動した場合はすみやかにお知らせください。

柏北部中央地区内で、売買や贈与により土地や建物の所有権移転があった場合、所有権移転登記を行った後、できるだけ早くお知らせください。届出用紙は、当事務所に用意してあります。

施行者からのお知らせ等を的確に行えるようご協力ください。

2. 建築行為等を行う場合はご相談ください。

柏北部中央地区では、事業が完了するまでの間(換地処分公告日まで)土地区画整理事業上の障害となる恐れがある次の建築行為等を行うときは、許可が必要になります。事前に当事務所にお越しいただき、申請(土地区画整理法第76条申請)の事前相談を行っていただくようお願いします。

- ①建築物、その他の工作物の新築、改築および増築
- ②土地の形質の変更(切土、盛土、土砂・瓦礫等の搬入たい積等)
- ③移転が容易でない物件(重量が5t超)の設置またはたい積

なお、事前相談の後、申請書をお渡ししますので、必要事項をご記入の上、柏市北部整備課へ申請書を届出させていただきます。

お問い合わせ先

土地区画整理事業について、ご不明な点がございましたら、お気軽にご相談ください。

《千葉県東葛飾地域整備センター 柏区画整理事務所》

〒277-0871 柏市若柴160-1

管理移転課 04-7134-1211(移転補償等)

換地課 04-7134-1247(換地、建築に係る76条申請、区画整理だより等)

工務課 04-7134-1294(宅地造成、道路整備、調整池工事等)

FAX 04-7134-1299

この「区画整理だより」は、古紙再生紙を使用しています。

柏北部中央地区

区画整理だより

第32号

●千葉県東葛飾地域整備センター
柏区画整理事務所

「自転車に安心な街」を目指して!

「自転車通行環境整備に関するモデル地区」に指定

柏の葉キャンパス駅周辺地区が、「自転車通行環境整備に関するモデル地区」に指定されました。このモデル地区は平成20年1月17日に国土交通省と警察庁が合同で、今後の自転車通行環境整備の模範となる地区を98カ所指定したものです。モデル地区の指定を受けたことで、今後、関係機関や住民と連携して、自転車通行環境の整備や注意啓発事業等が行われます。

詳細につきましては、インターネットでご覧になることができます。アドレスは下記のとおりです。

URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/pdf/08011701.pdf>

「自転車を活用したまちづくり」(UDCK: 柏の葉アーバンデザインセンター)

柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)により、平成20年11月20日、「自転車を活用したまちづくり」をテーマに2周年記念シンポジウムが開催されました。シンポジウムでは未来型モビリティ(自転車)の体験会、古倉宗治先生(京都大学大学院客員教授)による基調講演会、羽藤東大准教授、柏市企画部長、東大大学院生によるパネルディスカッションが行われました。



【体験会の様子】



【写真A: セグウェイ】

未来型モビリティ(自転車)の体験会では、環境にやさしい新しい乗り物「セグウェイ(写真A)」、「ペロタクシー(写真B)」の試乗会が行われたほか、自転車の新しいシステム「スマートバイク(写真C)」の展示がありました。また、基調講演やパネルディスカッションでは、自転車を活用したまちづくりのあり方について活発な議論や提案が出されました。



【写真B: ペロタクシー】



【写真C: スマートバイク】

柏の葉キャンスタウン(147、148街区)のまちづくり ～ 国際的なキャンスタウンとしての先進的なまちづくり ～

「ららぽーと柏の葉」「パークシティ柏の葉」とともに柏北部中央地区の中心核の一翼を担う柏の葉キャンパス駅前(147・148街区)についてご紹介します!

当街区については、県が策定した「アーバンデザイン方針」に基づき、施行されていきます。

【京葉銀行柏の葉キャンパス支店】(平成20年12月1日オープン)



外壁を一定の階層で揃えることで、今後建てられる周りの建物と街並みの連続性を図ります。

【位置図(駅周辺)】



【「緑のみち」のイメージ図】



敷地を斜めに通る「緑のみち」の確保

駅からこんぶくろ池公園に向かう敷地内通路を「緑の道」として位置づけ、国際キャンスタウンを感じられるような空間を構成します。



【工事状況】



マンション等の建設も着々と進められています。

【(仮称) 柏の葉辻仲病院】(平成21年6月。開院予定)



専門性・先進性の高い医療、国際水準の医療、地域の中核となる医療の提供を目指します。(建物は8階建て、病床198床、延床面積12,127㎡を予定)

【アーバンデザイン方針について】

アーバンデザインとは・・・

柏の葉キャンパス駅周辺地区のまちづくりの基本的方向を国際的な学術研究都市の形成としていることから、拠点となる147・148街区のまちづくりにあたり、考慮すべき目標と守るべき水準を具体的に提示したものです。

アーバンデザイン方針の7つの柱

- ① 街並型建築による高質で親密な街並み
- ② 国際機能など多機能の複合と多様な居住環境
- ③ 緑のシンボル軸と街並み(西口駅前線)
- ④ 敷地内の緑の道
- ⑤ 環境共生対応と自然の素材・色彩
- ⑥ 快適に安心して歩ける歩行者空間及び動線の確保
- ⑦ 持続的に発展を可能とする高水準のエリアマネジメントの確立



【全体のイメージ図(147・148街区)】